



本会議の様子

第2回定例会

令和6年第2回定例会は、6月3日に開会し、「使用料及び手数料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」など、市長提議議案16件について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決及び同意し、6月18日に閉会しました。

市内施設等の使用料及び手数料の見直しや 補正予算など16議案を可決

受益者負担適正化のため
使用料等を見直し

使用料及び手数料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定については、門真市使用料及び手数料の見直しに関する指針に基づき、受益者負担の適正化を図るため、関係各条例において所要の改正を行うものです。

(議決結果) 反対討論の後、賛成多数で可決

(総務建設常任委員会審査概要)

問 使用料等を見直し理由は。

答 門真市第6次総合計画に掲げるスマートBiz★かどまにおける受益者負担の適正化の観点からである。

問 料金設定の根拠は。

答 門真市使用料及び手数料の見直しに関する指針に基づき、サービス提供や施設の維持管理に係る原価計算を行った上で、各施設に応じた受益者負担割合等により算出した。

問 改定率は。

答 同指針に基づき住民生活への

影響を考慮し、おおむね1・1倍から1・5倍の範囲内とする。

問 今後の見直しの予定は。

答 2月に改正した同指針に基づき、おおむね5年周期で定期的な見直しを行う。

6年度補正予算(1)

(一般会計補正予算(第4号))

(議決結果) 全員異議なく可決

(文教子ども常任委員会審査概要)

放課後児童クラブ費の見直しへ

問 放課後児童クラブのシステムを改修する理由は。

答 クラブ費を月額4500円から6000円へ見直すことから、併せてクラブ費を管理するシステムを改修するものである。

問 クラブ費及び延長利用料の推移は。

答 平成17年4月1日からのクラブ開設以降、クラブ費は月額4500円、31年4月1日からの時間延長実施に伴う利用料は1800円で変更はない。

もくじ

- 議案審議等の概要……………1～3ページ
 - ・使用料及び手数料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について、一般会計補正予算(1)
 - ・一般会計補正予算(2)、国保特会補正予算
 - ・人事案件など
- 一般質問・所管質問……………3～7ページ
- 議決結果、議会活動日誌……………8ページ

見直しを行った使用料・手数料

改定対象	改定時期
市民公益活動支援センター	令和7年4月1日
南部市民センター	
青少年活動センター	
生涯学習センター	
市民プラザ体育館	
市民プラザグラウンド	
テニスコート	
旧第六中学校運動広場	
青少年運動広場	
小学校・中学校施設	
リサイクルプラザ	
放課後児童クラブ	
境界明示手数料	令和8年4月1日
督促手数料	
ルミエールホール	令和9年4月1日
総合体育館	

※改定内容や料金等の詳細については、各施設等を所管している市担当課へお問合せください。

6年度補正予算(2)
(一般会計補正予算(第4号))

(民生水道常任委員会 審査概要)

ルミエールホールの
舞台設備の一部を修繕

問 修繕の内容は。

答 舞台機構、音響、照明等を操作する舞台設備が老朽化によりモニターの一部が映らないなど不具合が生じていることから、モニター及びカメラの修繕を行うものである。

問 ほかの箇所が故障する可能性もあるが、今後の対応は。

答 引き続き、ホール運営に支障がないように定期点検を実施し、対応していく。

問 舞台設備全体を更新する場合の費用は。

答 約2600万円が見込まれる。

問 今回の修繕箇所は以前の工事の際に更新していなかったのか。

答 元年度に実施した大規模改修工事では、その時点で優先順位の高い、ホール天井の耐震化を中心に老朽箇所を改修したもので、モニター及びカメラの更新は実施していない。

問 一斉更新のほうが無駄な費用を使うことがないのではないか。

答 今後、大規模改修工事を実施する際には、費用対効果も踏まえ改修方法を検討していく。

生涯学習複合施設の整備
物価高騰に伴い予算を増額

問 整備工事費の増額の根拠は。

答 工事請負契約書におけるインフレスライド条項の規定により、受注者から請負代金額変更の請求があったものである。

問 今後さらなる増額を想定しているのか。

答 急激なインフレによる資材価格の高騰等、特別の事情を要因とするため今後の予測は困難であるが、様々な可能性を想定し適切に対応していく。

問 工期延長も要因と考えるが、工程管理は適切にできているか。

答 建設工事を円滑に実施するため、工事監理者及び工事施工者、本市担当者が出席する週間定例会議により様々な情報を共有し工程管理を行っており、今後も引き続き関係事業者と連携し着実に進めていく。

(総務建設常任委員会 審査概要)

門真プラザの改良店舗を
現使用者に有償譲渡

問 譲渡対象となる改良店舗は。

答 門真プラザで市が所有する9店舗のうち、使用許可を得ている6店舗である。

問 譲渡する方針に至った経緯は。

答 改良店舗の使用者にヒアリングを行った結果、全使用者とも再開発事業後も現在の場所で開催を継続したい意思があることから、譲渡することで再開発事業の組合員となり事業後も同じ場所での営業の継続が可能となるため、使用者に有償譲渡を行う方針とした。



現在の門真プラザ

問 譲渡価格の算定方法は。

答 国が示す算出方法に準じて土地、建物価格を不動産鑑定士に評価してもらい、その後、不動産評価委員会に諮り譲渡価格を決定している。

問 譲渡時の主な契約条件は。

答 契約書に再開発事業へ協力す

ることや、原則、一定期間所有権の移転ができない旨等を明記する予定である。

旧北小学校の跡地活用を検討

問 活用に向けた取組は。

答 同校跡地未来づくりワークショップ、跡地活用実験としてキタシヨウカーニバルやキタシヨウフェスティバルを開催し、それらの内容を踏まえた旧門真市立北小学校跡地活用プレビジョンを5年7月に策定した。

問 5年度に実施したサウンディ

ング調査の内容は。

答 耐震診断等により建物の利活用の可能性を検討した結果、校舎の耐震性が悪く改修費用が多額になること、また、各テナントの面積要件等を満たせず、活用意向を得られない可能性が高いなどの課題が判明したため、校舎を除却する方針とした。

問 校舎除却の周知方法は。

答 同校跡地未来づくりワークショップの参加者へ、直接説明する予定である。

6年度補正予算(3)
(国保特会補正予算(第1号))

(議決結果)

賛成多数で可決

(民生水道常任委員会 審査概要)

保険証とマイナンバーカード
一体化に伴いシステムを改修

問 システム改修の概要は。

答 健康保険証とマイナンバーカードの一体化に伴い、6年12月2日をもって従来の健康保険証が廃止となることから、同日以降、資格確認書の発行機能等を追加するものである。

問 保険証廃止後、マイナンバーカード未取得者への対応は。

答 新規の国民健康保険加入者や健康保険証の紛失者等でマイナンバーカードの未取得者または保険証利用未登録者に対し、資格確認書の交付を予定する。

問 同確認書の交付時期と場所は。

答 6年12月2日以降、健康保険課窓口で交付する。

問 同確認書の有効期限は。

答 6年12月2日から7年10月31日までの発行分については、府の運営方針において、7年10月31日までとされている。

問 今後、同確認書を申請によらず一斉交付する予定は。

答 7年度において、申請の有無に関わらず、対象者に対し10月を目途に一斉交付を予定する。

問 一体化に係る問題点について、市の認識は。

答 廃止日までに交付した健康保険証の有効期限が7年10月末までであること、必要に応じて従来の健康保険証に代わる資格確認書を交付予定であることから、被保険者にとって直ちに問題が生じるとは考えていない。一方で、市民が一体化の目的やメリットなどを十分に理解できていないことや、職員の事務負担が増えていくことが課題であると考えている。

政務活動費

収支報告書等の公開

本市議会議員の5年度政務活動費収支報告書及び領収書等の写しを6年7月から公開していきます。

閲覧される際に申込みなどの手続は必要ありません。

閲覧場所

情報コーナー

(市役所別館1階)

閲覧時間

月曜日～金曜日
(閉庁日は除く)

午前9時～午後5時30分

※市議会ホームページでは、収支報告書の写しを閲覧することができます。



人事案件に同意

〈監査委員の選任〉

菅原 正明

本件は同委員の任期が6年9月16日をもって満了することに伴い、提案されたもので、選任に同意しました。

〈固定資産評価審査委員会委員の選任〉

曽我部 晋太

本件は前任委員の任期が6年9月16日をもって満了することに伴い、提案されたもので、選任に同意しました。

〈人権擁護委員候補者の推薦〉

濱田 和則
船越 まり子
藤田 由紀子

以上3件は前任委員の任期が6年12月31日をもって満了することに伴い、提案されたもので、いずれも推薦に同意しました。



永年勤続の議員へ表彰状を伝達

去る5月22日に開催された第100回全国市議会議長会定期総会において永年勤続議員の表彰が行われ、本市議会からは

(25年表彰)
福田 英彦 議員

が表彰の栄誉に浴しました。本市議会では6月3日の定例会の開会に先立ち、表彰状の伝達を行い、満場の拍手でその栄誉をたたえ、また宮本市長からお祝いの言葉がありました。

これに対し、福田議員から謝辞が述べられました。



表彰状伝達の様子

本会議 総務建設 民生水道 文教こども

一般質問・所管質問

6月18日の本会議において、17名の議員が市政に対する一般質問を行いました。

また、6月5日、6日、7日の各常任委員会において、14名の議員が所管事項に対する質問を行いました。

本会議または各常任委員会で行われた主な質問と答弁の要旨を3面から6面に掲載しています。(議席順)

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページをごらんください。
※第2回定例会の会議録は8月下旬に掲載する予定です。

本会議



深井 弘晃
(真政会)

大和田駅前広場について

市民ワークショップで魅力ある先進的な意見や提案が活発に出されているが、企業や団体との連携について、今後の展望は。

広場を含め、駅周辺のにぎわい創出には企業や団体との連携は不可欠であり、公民連携のまちづくりの考えのもと、取り組む。

駅前広場の全体像としてどのように基本構想策定を進めるのか。
ワークショップでの意見も参考に必要機能や配置案等を取りまとめ、交通事業者等との協議内容

広報について

特に重視している情報発信媒体とその運用内容は。

市内外の若い世代や子育て世帯へ効果的に情報を届けるため、インスタグラムを用いた情報発信を重視している。

5年10月からSNS運用パートナーと契約し、伝わりやすいデザインで投稿を行うほか、本市の魅力や現状を動画形式で投稿するなど、伝えたい内容に応じて最適な形で情報発信に取り組んでいる。



大和田駅前の上空写真

本会議



大西 康弘
(真政会)

部活動の地域移行について

本市の受益者負担の考え方は、持続可能な取組とするため、活動の維持運営に必要な範囲で一定程度の受益者負担を求めていると考える。今後は他市町村の状況等も参考にし、部活動検討委員会を中心に検討していく。

市公式LINEについて

利用できる主なサービスは。
ごみの分別方法の検索、法律相談等の各種相談予約、道路や公園遊具の不具合等の通報、避難所

本会議



片平 恭子
(大阪維新の会)

本市の公共交通網について

乗合タクシーの運行区域が拡大した経緯は。

5年12月に京阪バス路線の一部が廃止されたことを受け、周辺に商業施設や病院等の生活利便施設が少なく、日常の買い回りや通院が困難な地域を中心に運行区域拡大の検討を行った。

八尾枚方線を通るバス路線の廃止に伴い、岸和田、四宮の住民が買物等に行きづらくなっている。門真南ルートワゴン型バスについて、沖町郵便局前から弁天池公

検索、税証明書の交付申請等、スマホからいつでも利用可能である。

地域生活支援拠点の整備について

多機能拠点整備型から面的整備型への移行を検討すべきと考え、市の方針は。

他の事業所と連携を図り、様々な事業所が拠点としての機能を担い、利用者のニーズに応えられるような面的整備も検討していく。

医療的ケア児等短期入所施設が少ないことを認識しているか。
また、6年度以降の取組や計画は。

タイムリーな利用ができない状況にあると認識している。6年度中に医療機関等に短期入所事業の実施を働きかけ、門真市公共施設再編計画にて検討していく。

園方面へ進むルートがあれば、既存のバス路線ともかぶらないと思うが、ルート拡張の考えは。

公共施設を結ぶ市内を循環するルートなども考慮した持続可能な公共交通の構築が必要であると考える。提案のルートも考慮し、ルート再編の検討に努める。

廃棄ロス、フードロスについて

食品ロス削減に関する取組は。
使いきり・食べきり・水きりの「3きり運動」や食品ロス削減のための料理教室を開催しレシピを市ホームページに掲載するほか、陳列棚手前の消費期限が近い商品を選び食品ロス削減を促す「てまえどりポップ」を小学4年生に作成してもらい、市の連携先店舗に掲示するなどの取組を行った。

本 会 議



坂本 拓哉
(大阪維新の会)

一中跡地タワーマンションの
助成金について

助成金の目的は。

土地区画整理事業を実施している幸福町の一部の区域内において、子育て型共同住宅や快適な居住環境の整備及び地域のにぎわいを創出する広場空間の整備を行う事業者に対し、国の住宅市街地総合整備事業における交付金制度を活用した助成金を交付することで、子育て世帯の流入を促進する質の高い共同住宅等の整備を図るものである。

本 会 議



森 博孝
(真政会)

生活保護受給者等に対する
就労支援事業について

門真市と大阪労働局が生活保護受給者等に対して就労支援を一体的に実施する事業の概要は。

市役所本館1階にハローワーク常設窓口を設置し、生活保護受給者等に対して求人情報の提供や職業相談、職業紹介を行い、ワンストップ型の支援方法で、就労による自立促進を図る事業である。

本事業の目標設定は。

毎年度、門真市、大阪労働局、ハローワーク、労働者団体、雇用

交付要件は。

国の制度要件を基に助成金要綱を定めており、住戸専用面積を65㎡以上とする子育て型住戸が全住戸の67%以上であることや遮音対策、子どもの乗り越えによる転落防止対策を講じるなどの整備基準に適合する必要がある。

期待される効果は。

質の高い共同住宅が建設され、隣接する生涯学習複合施設や交流広場が完成した際には、新たな本市の玄関口にふさわしいシンボルタワーができ、当該地区のイメージが一新されるとともに、周辺の密集市街地への波及効果や子育て世帯の流入も期待される。



本 会 議



寺西 敬子
(公明党)

アスマイルアプリの活用と
今後の取組について

同アプリ内のウォークラリー機能は、掲載されたウォーキング地点に到着すると、ポイントがもらえるもので、市内にも4つのコースが設定されている。

高齢者や働き盛り、子育て世代に向けた健康づくりの取組促進について、他部局との連携で、手軽に始めやすいコースの増設等、アプリをさらに活用してもらいたいと考えるが、今後の予定は。

4つのコースに加え、気軽に

本 会 議



坂本大次郎
(公明党)

こども誰でも通園制度について

近年は夫婦と子どもからなる核家族化が進み、家事・子育てにおいて保護者の負担が大きいと言われている。同制度は子育て世帯へのさらなる負担軽減につながる

と考えるが、市の認識は。

子どもが家庭とは異なる経験や家族以外の人と接する機会となること、ものや人への興味が広がり成長発達に資する豊かな経験を

もたらすことなどに加え、孤立感や不安感を抱える保護者の負担感の軽減等レスパイトの観点から有

チャレンジで

きる短距離コースなど、幅広い世代が参加できるよう工夫していく。



大和田駅周辺地域の
魅力向上について

今回空間整備が検討されている周辺の道路約130mの常盤野里線は、整備から数十年が経過し、陥没して凸凹の路面は歩行者の通行を妨げ、苦情が多く早期に改修すべきと考えるが、市の方針は。

全体的な舗装改修は、車両が通行する路線であるため、耐久性や補修の容易性を考慮した舗装材料を選定し、財源の確保を含め早期に実施できるよう検討していく。

用であると考えている。

また、第3期子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査において、現在保育所等を利用していない保護者によると、就労の有無にかかわらず月10時間程度まで保育所等を利用できる制度がある場合、約6割がその制度を利用したいと回答したことなどからも、制度としては有用であるが、一方では保育士不足等による受入体制や環境整備に課題もあると考えている。



今後の取組は。

国の動向や他市の取組状況等、情報収集に努めるとともに、各関係機関との調整を図り、実施に向けた検討を進めていく。

市議会の傍聴にお越しく下さい



令和6年第3回定例会の開催予定

(日程は都合により変更となる場合あり)

と き			内 容
9月	5日(木)	午前10時から	本 会 議
		本会議終了後	決算特別委員会
	9日(月)	午前10時から	総務建設常任委員会
	10日(火)		民生水道常任委員会
	11日(水)		文教こども常任委員会
	24日(火)		本 会 議 (一般質問)
	25日(水)		本 会 議 (一般質問)

傍聴の受付など(誰でも無料で傍聴可能)

	本 会 議	常任委員会
受付時間	開催予定時刻の30分前から	
受付場所	市役所本館1階議場前	市役所本館4階議会事務局
定 員 (先着順)	一般席32人 車椅子使用者席3人	10人

議案書の無償提供

定例会の最終日終了後、議場前にて議案書の無償提供(先着10人、1人1部)を行っていますので、ご希望の方は受付担当者まで、お申し出ください。

本 会 議



池田美佐子
(公明党)

公共交通の充実について

問 本市の交通網はまだまだ課題が多く、満足を得る市民サービス
の提供には至っていない。

答 門真市総合交通戦略には利便性と効率性を両立したバス路線の再構築が必要と掲げられているが、今後の展望は。

問 市公共施設を結ぶ市内循環ルートなども考慮した、持続可能な公共交通の構築が必要と考える。実施時期については、大阪モノレール延伸事業の延期に影響されることなく、各地域で進めている

本 会 議



吉水 志晴
(大阪維新の会)

市内の公園について

問 門真市パークイノベーション計画における公園面積の分類での公園数は。

答 市内166か所ある公園の規模を基準に、3か所の大きな公園、21か所の中くらいの公園、142か所の小さな公園に分類している。

問 同計画の役割ごとの公園数は。

答 大きな公園と中くらいの公園を多機能化・拡充の方針とし、小さな公園のうち、51か所を機能の特化の「いいこ型」、70か所を機能の特化の「にぎわい型」、21か

本 会 議



滝井 稔元
(大阪維新の会)

「消滅可能性都市」について

問 本年4月に民間組織が公表した報告書において、消滅の可能性があるとされる全国744の自治体の中に本市が含まれていたが、市の見解は。

答 同報告書は2年国勢調査の確定数等を基に、定義に沿って分析されたものと捉えているが、直近10年での人口推移は減少幅が改善し、5年度は320人の転入超過と改善傾向であり、若年女性人口も91人の転入超過であることから、フェーズは変わってきているもの

問 同報告書は2年国勢調査の確定数等を基に、定義に沿って分析されたものと捉えているが、直近10年での人口推移は減少幅が改善し、5年度は320人の転入超過と改善傾向であり、若年女性人口も91人の転入超過であることから、フェーズは変わってきているもの

本 会 議



豊北 裕子
(日本共産党)

砂子小学校跡地における公共施設再編計画について

問 旧砂子小学校に整備予定の施設の概要は。

答 同再編計画では、「より使いやすい施設への転換」を掲げ、稼働率の低い専用室を集約し、貸館機能の多目的室化を進め、人口減少を見据えた施設総量の26%以上の効率化、民間施設・学校施設の活用等を検討することとしている。

問 市民意向をどう反映したのか。

答 砂子小学校区の各自治会長の意見聴取、パブリックコメントを

と考えている。

問 平成26年に東京都区区内で唯一同都市とされた豊島区は、その後「子どもと女性に優しいまちづくり」等の政策を積極的に進めることで持続可能なまちに生まれ変わり、同都市を脱却した。本市も同都市とされたことを好機と捉え、まちの魅力を最大限に引き出す必要があると考えるが、市の見解は。

答 これまで、地域に根差した子育て・教育施策の充実、まちづくりの推進による快適な住まい環境の整備、産業振興と身近で働ける場の創出を3本柱としてきた。

加えて、民間投資も呼び込み、訪日外国人も含め本市への来訪者も着実に増えてきており、今後もまちの魅力向上策に取り組み、持続可能なまちづくりを進めていく。

問 経て計画を策定した。

答 各施設がどう変わるのか。

問 移転後は、同再編計画で示す延床面積36%縮減を基本的な考え方として具体化していく。

問 集約する施設があまりにも多過ぎる。少なくとも地域に根差した南部市民センターは違う場所に集約すべきではない。

答 今後同センターは残し活用すべきだと思うがどうか。

問 移転後、各種証明書発行業務は窓口を設置して引き継ぐ方針であり、他の業務も今後関係部署で協議する。

問 同センター跡地は、こども発達支援センターの移転先として活用し計画の見直しは考えていない。手続のオンライン化等サービスの利便性向上に努めていく。

本 会 議



松本 京子
(公明党)

オーラルフレイルについて

問 オーラルフレイル予防の周知のため、チェック表を市ホームページなどに掲載する考えは。

答 口腔機能の低下を示すオーラルフレイルは、放置すると心身の機能が低下し、フレイルにつながるため、チェック表は早期対策に有効な手段の一つと認識している。

今後は、健康寿命延伸の取組の一つとして、周知に取り組む。

ワクチン接種について

問 HPVワクチンのキャッチア

本 会 議



後藤 太平
(公明党)

病児保育の拡充について

問 子育てをする若い世代に門真市が選ばれる環境整備をさらに進める必要があると考えるが、病児保育の整備について、市の方針は。

答 第2期子ども・子育て支援事業計画で、北部に2か所、南部に1か所となっているが、現在は北部に1か所のみとなっている。

また、次期計画に係るニーズ調査でも、一定数のニーズが見込まれるなど同事業は子育てと就労の両立支援として必要な取組と考えており、今後も利便性向上に向け

アップ接種対象者の接種状況は。

答 4月1日現在、対象者6502人のうち、1112人が接種を完了している。

問 接種のさらなる周知方法は。

答 7月に未接種者へ個別通知を行う準備を進めており、市広報紙やホームページによる周知、門真市ピックアップニュースでも配信し、接種率向上に努める。

問 带状疱疹ワクチン接種費用助成について、導入の考えは。

答 府が実施した市町村への意向調査の中で、補助事業創設を要望したところである。

今後は、国や府の動向を注視し、定期接種化の早期実現に向けて要望していく。



教育DXと働き方改革について

問 学校現場のデジタル化の進捗状況は。

答 児童・生徒の1人1台端末、教職員の1人1台PC、会議のペーパーレス化、アンケート作業の電子化、授業等のオンライン化、保護者との連絡アプリやデジタル採点システムの導入等を行った。

問 教員の労働環境は過酷を極め、多忙化、ブラック化しているという社会認識にもつながっていると考えるが、市の見解は。

答 教師が本来教師でなければできない業務に集中し、教育の質の向上に取り組むことができるよう、働き方改革の取組を進めていく。



5年5月にオープンした北島東町公園

本 会 議



岡本 宗城
(公明党)

野球スタジアムの整備について

問 門真市北島西・北周辺土地区画整理事業は、市街化調整区域での大きなプロジェクトとなる。

答 整備する市の野球スタジアムも高規格の施設としてプロ野球の公式試合が開催できる仕様にし、関西をはじめ、全国各地から門真市へプロ野球を観戦しに来られる活気あるにぎやかな光景を実現したいと思うが、市の考えは。

答 実現すると本市の新たな顔となり、魅力をさらに創出できるが、整備費や運営費が多額になると推

測され、採算性を考慮すると大変厳しいと考える。
今後、スタジアム整備のスキームや規模等について、庁内の関係部局で検討し、準備組合や業務代行予定者と協議していく。



画像提供：盛岡市

会派で視察した高規格野球スタジアム「きたぎんボールパーク」

総務建設



内海 武寿
(公明党)

北島西・北地区のまちづくりについて

問 5月11日に開催された北島西・北周辺土地区画整理準備組合総会での地権者からの意見は。

答 土地単価の決定時期や今後の土地利用、事業協力者の選定についてなどである。

問 意見を受けて業務代行予定者である株式会社大林組の回答は。

答 これまでの経験を生かし、地権者との対話を重視し、本地区のまちづくりの実現に向け全力で取り組むとの回答があった。

門真南ルートワゴン型バスについて

問 乗り場について、路面標示だけではダイヤが分からず利用しにくいとの声があるが、市の考えは。

答 時刻表を乗り場に設置してほしいとの声があることは認識しているが、道路上へのバス停設置は、狭く通行の安全性が確保できない場所が多いため、警察の許可を受けるのは困難と考える。

問 バスのステップが高く、乗り降りしにくいとの声があるが、対応策について市の考えは。

答 高齢者を中心に乗り降りがしにくいとの声があることは認識しており、電動補助ステップや大きなの手すりを付けた車両へ変更することで改善可能と考える。

民生水道



大倉 基文
(大阪維新の会)

門真市骨髄バンクドナー支援事業について

問 同事業をスタートするに当たり、ドナー支援と並行して、骨髄バンク登録者を増やすことも重要と考える。

答 市役所前で実施している献血の機会に、登録者を増やす取組をしてはと考えるが、市の見解は。

答 白血病や再生不良性貧血等の血液疾患の治療に有効な骨髄移植や末梢血管細胞移植を推進するためには、一人でも多くの方のドナー登録への協力が必要不可欠であ

り、市民にとって身近な場所である市役所前での献血時に登録会を開催することは、登録の機会拡大につながると思われる。

今後の方向性は。

答 市内で実施される献血に併せて骨髄移植等への理解とドナー登録への協力を得られるよう、ポスター掲示やチラシの配布等普及・啓発に努めるとともに、登録会開催に向けた調整を進めるなど、環境整備に取り組んでいく。



民生水道



五味 聖二
(大阪維新の会)

一般ごみなどの収集方法の外国語での案内について

問 「ごみの出し方・分け方」の外国語版について、本市の現状は。

答 現在、中国語（簡体字・繁体字）のみ作成している。

問 北河内における他市の状況は。

答 守口市が3言語（英語・韓国語・中国語）、寝屋川市が5言語（英語・韓国語・中国語・スペイン語・ポルトガル語）、枚方市が6言語（英語・韓国語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語）であり、その他の市は、

外国語の対応はされていない。

問 近年、様々な外国人が本市に居住し、その人口も年々増加しており、中国語以外の外国語版が必要と考えるが、市の見解は。

答 本市では将来にわたり持続可能な循環型社会、脱炭素社会を形成し、安全・安心に暮らせる環境を次世代に引き継ぐため、「門真市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しており、その実現には、リサイクルや廃棄物削減への外国人の積極的な参加も必要であるため、中国語以外の外国語版の作成も必要である

と考えているが、現在是对

応できていない。



本 会 議



福田 英彦
(日本共産党)

古川橋駅北側タワーマンションに45億円の助成金の無駄遣い

問 用地活用事業者選定後に助成金要綱が策定されている。事業者の意向に沿った内容ではないか。

答 国の制度要件を基に、市が策定したものであり、事業者の意向に沿って策定したものではない。

問 助成金に見合う効果が全く数字で示されておらず、市民への説明責任は果たせない。タワーマンション建設に対し、45億円の助成金に見合う効果額は。

答 効果額は算出していないが、

子育て世帯の流入が期待され、諸税の増収も見込まれる。

南東地域のまちづくりについて

問 業務代行者の提案概要書では農地1・1ヘクタール。営農支援と北島地区に原風景を残す取組は。

答 営農希望者の意向も踏まえ、農地の集約・再配置など、農地の保全に努めてまいりたい。

問 コミュニティバスの廃止、京阪バス路線の縮小で、市南部地域から市役所等への公共交通の確保が求められている。まちづくりが進められている今こそ、門真市全域の公共交通を整備すべき。

答 持続可能な公共交通の検討については、適切な時期に実施できるように、地域公共交通会議の意見等を踏まえ取り組む。

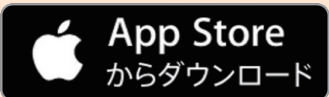
にほんごがわからないひとへ

カタログ ポケット
Catalog Pocket



10言語対応の「議会だより」をデジタルブックで配信しています。
You can read "kadoma council News" in 10 languages by the application.

■ iOS版



■ Android版



■市政に対する一般質問の要旨（通告順）

岡本 宗城（公明党）

- 1 門真市北島西・北周辺土地区画整理事業について

内海 武寿（公明党）

- 1 第6次総合計画について
- 2 産業振興について

松本 京子（公明党）

- 1 災害時のトイレ対策等について
- 2 デジタル・D Xについて
- 3 認知症施策等について
- 4 ワクチン接種について
- 5 高齢者支援について

寺西 敬子（公明党）

- 1 大和田駅周辺地域の魅力向上について
- 2 生涯を通じた健康づくりの取組について

吉水 志晴（大阪維新の会）

- 1 市内の公園について

大倉 基文（大阪維新の会）

- 1 確かな学力の育成について
- 2 本市の駅前周辺とその他の開発について

片平 恭子（大阪維新の会）

- 1 門真市の公共交通網について
- 2 廃棄ロス、フードロスについて
- 3 庁舎前エリアについて

森 博孝（真政会）

- 1 生活保護受給者等に対する就労支援事業について

大西 康弘（真政会）

- 1 部活動地域移行について
- 2 市公式L I N Eについて
- 3 地域生活支援拠点の整備について

深井 弘晃（真政会）

- 1 大和田駅前広場について
- 2 広報について

池田美佐子（公明党）

- 1 公共交通の充実について

坂本大次郎（公明党）

- 1 「こども誰でも通園制度」について

後藤 太平（公明党）

- 1 病児保育の拡充について
- 2 個別避難計画について
- 3 教育「現場」での「働き方改革」と「教育D X」について

福田 英彦（日本共産党）

- 1 南東地域のまちづくりと公共交通の整備について
- 2 古川橋駅北側のタワーマンション建設に45億円の助成金の無駄遣いについて
- 3 門真市駅前の再開発について

滝井 稔元（大阪維新の会）

- 1 消滅可能性自治体について
- 2 門真市駅前のまちづくりについて

豊北 裕子（日本共産党）

- 1 砂子小学校跡地における公共施設再編計画について

坂本 拓哉（大阪維新の会）

- 1 幸福町・垣内町のまちづくりについて

■各常任委員会の所管事項に対する質問の要旨（通告順）

●総務建設常任委員会

大西 康弘（真政会）

- 1 統合型G I Sへの地番図の搭載について

吉水 志晴（大阪維新の会）

- 1 庁舎エリア整備について

内海 武寿（公明党）

- 1 北島西・北地区のまちづくりについて
- 2 門真市の交通網について

岡本 宗城（公明党）

- 1 千石西町住宅等の管理について
- 2 庁舎エリア整備プロジェクトチームについて

寺西 敬子（公明党）

- 1 公共施設再編計画について
- 2 デジタル人材の育成について
- 3 被災地支援に伴う災害協定先との連携について
- 4 門真市と京阪ホールディングス株式会社との「まちづくり事業連携に関する協定」について

滝井 稔元（大阪維新の会）

- 1 期日前投票について
- 2 大阪モノレール延伸事業について
- 3 門真南ルートワゴン型バス運行事業について

●民生水道常任委員会

深井 弘晃（真政会）

- 1 介護給付費準備基金について

後藤 太平（公明党）

- 1 介護保険料が高額となった要因と今後の対策について

五味 聖二（大阪維新の会）

- 1 一般ごみ等の収集方法について

福田 英彦（日本共産党）

- 1 大阪広域水道企業団への事業統合の現状と本市の対応について
- 2 全国で3番目に高い介護保険料と対応について

大倉 基文（大阪維新の会）

- 1 門真市骨髓バンクドナー支援事業について

●文教こども常任委員会

片平 恭子（大阪維新の会）

- 1 児童手当の抜本的拡充について

松本 京子（公明党）

- 1 チーム学校について
- 2 令和の日本型学校教育について
- 3 万博の輸送手段について

豊北 裕子（日本共産党）

- 1 上野口保育園と大和田幼稚園の統合について
- 2 こども発達支援センターについて
- 3 就学援助制度の入学準備金の入学前支給等について
- 4 教育支援ルーム「かがやき」の移転について
- 5 大阪府の関西万博への子ども無料招待への対応について



第2回定例会で審議した案件と議決結果			会派名		公 明 党								大阪維新の会						真政会				日本共産党		議決結果
			議員名		寺西敬子	坂本大次郎	池田美佐子	松本京子	後藤 太平	岡本 宗城	内海 武寿	片平 恭子	坂本 拓哉	吉水 志晴	滝井 稔元	大倉 基文	五味 聖二	今田 哲哉	深井 弘晃	大西 康弘	池田 治子	森 博孝	豊北 裕子	福田 英彦	
議案番号		議案名																							
報 告	報告第2号	令和5年度門真市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
	報告第3号	令和5年度門真市介護保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
	報告第4号	令和5年度門真市水道事業会計予算繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
	報告第5号	令和5年度門真市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
条 例	議案第40号	使用料及び手数料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	可決
	議案第41号	門真市附属機関に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	議案第42号	門真市税条例及び災害による被害者に対する門真市税の減免に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	議案第43号	門真市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	議案第44号	門真市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	議案第45号	門真市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	議案第46号	門真市東部大阪都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
その他の議案	議案第38号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	議案第39号	門真住宅29棟他撤去工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
補正予算	議案第47号	令和6年度門真市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	可決
	議案第48号	令和6年度門真市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	可決
人事案件	議案第49号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	同意
	議案第50号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	同意
	議案第51号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	同意
	議案第52号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	同意
	議案第53号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	同意

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

議 会 活 動 日 誌（令和6年6月1日～7月31日）

- 6・

3 本会議（第2回定例会開会）
5 総務建設常任委員会
6 民生水道常任委員会
7 文教こども常任委員会
11 議会運営委員会
18 本会議（第2回定例会閉会）

7・

12 守口市門真市消防組合議会臨時会
16～17 東部大阪治水対策促進議会協議会他都市視察

- 7・
- 22 河北市議会議長会
23 淀川左岸治水促進期成同盟総会
24 大阪府後期高齢者医療広域連合議会臨時会
25 大阪広域水道企業団議会臨時会
30 飯盛霊園組合議会定例会

